N
その他

N-2 Quick MENUについて

ナビゲーションの各項目選択を１つの画面から操作することができます。

1 各ソースのTOP画面で、Quick をタッチする。

：Quick MENU画面が表示されます。

オーディオ画面
（SDソース画面（例））

2 切り替えたい機能（メニュー）ボタンをタッチする。

：選択した機能画面が表示されます。

Quick MENU画面（例）

アドバイス

ナビゲーション画面でよく使用する機能を10個までQuick MENUに設定することができます。

別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）「Quick MENUの設定をする」B–21

画像ファイル(JPEG)について

- SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERソースのとき、画像ファイル(JPEG)を再生させることができます。☞「動作モード(音楽／画像／動画)を切り替える」A-20
- 再生可能なJPEGファイルについて

対応形式	Baseline JPEG方式
再生可能な拡張子	JPG／jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名	全角32文字／半角64文字
最大フォルダ階層	8階層(ルートフォルダ含む)
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	10 MB以下
画像サイズ	16×16ピクセル～4092×4092ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEGファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

N-4 動画ファイル(MPEG4)について

- SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERソースのとき、動画ファイル(MPEG4／H.264)を再生させることができます。

「動作モード(音楽／画像／動画)を切り替える」A–20

- 再生可能な動画ファイルについて

ビデオコーデック	ビットレート	フレームレート	最大解像度
MPEG4	216 kbps～4 Mbps	15 fps、30 fps	720×480
H.264	216 kbps～4 Mbps	15 fps、30 fps	720×480

※MPEG4(ビデオコーデック)の対応プロファイルはSimple Profileレベル3までです。
※ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。
※H.264(ビデオコーデック)の対応プロファイルは、Baseline Profileレベル2までです。
※可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。その様な部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
※Windows Media Videoには対応していません。

オーディオコーデック	ビットレート	サンプリングレート
AAC-LC	8 kbps～320 kbps	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
AAC-Plus	×	×

※ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

上記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかったり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの取扱説明書を参照ください。
※動画ファイル(MPEG4／H.264)の作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。

再生可能な拡張子	MP4／M4V／mp4／m4v(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ階層	8階層
表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
1フォルダ内の最大ファイル数	100(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	1 GB以下

※WMVは再生できません。

● **動画ファイル(MPEG4)の再生について**

・極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
・極端に再生時間の長いファイル、極端に再生時間の短いファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
・同一ファイル内に音声／映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
・2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データを含む映像ファイルは再生できません。
・フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客さまが予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“001～100”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
・対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子(MP4／M4V／mp4／m4v)を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
・動画ファイルの作り方によっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。

● **著作権について**

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。
著作権保護された動画ファイル(MPEG4)の映像は再生できません。

本製品に搭載のソフトウェアは下記使用目的に限りライセンスされております。
「本製品は、MPEG-4規格のためのAT&T 特許の下でライセンスされ、そして、個人及び非商業目的にのみ、ビデオをエンコードするために、及び／或いは(1)個人及び非商業目的のため、又は、(2)AT&Tの特許に基づきライセンスされたMPEG-4準拠のビデオを提供するビデオプロバイダによってエンコードされたビデオをデコードするために使用することができます。
他の目的のためにはライセンスされておりません。」

本機で再生できるディスクについて

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL		
		mp3	WMA	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋などまたは車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

⚠注意 すでにディスクが入っている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

● **下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。**

・CD-G	・フォトCD	・CD-ROM	・Blu-ray
・CD-EXTRA	・VIDEO CD	・SACD	・HD DVD
・DVD-ROM	・DVD-RAM	・DVDオーディオ	・SVCD

● **DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。**
・リージョン番号「2」が含まれていないディスク
・無許諾のディスク(海賊版のディスク)
・NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

● **CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。**
・データが記録されていないディスク
・ディスクの記録状態/ディスク自体の状態が悪い場合
・ディスクと本機の相性が悪い場合
・CD-R/CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3/WMAは再生できます。)
・ファイナライズされていないディスクは再生できません。
※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。
※MP3/WMAは☞「MP3/WMAファイルについて」C-8をご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。
※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

● DVDレコーダで作成したディスクについて
・DVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。☞J-20、J-31
・デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。
☞「DVD再生ディスク対応一覧表」J-31
※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。
DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。
※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。
※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

● 8 cmディスクについて
本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

● dts-CD(dts 5.1 chサラウンドトラックが収録されているCD)について
CDソースでは再生できます。MUSIC STOCKERソースでは正常に録音／再生できません。

● コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコンなどで複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

● 特殊形状のディスクについて
ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

● Dual Discについて
Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

! 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

N-8 データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMUSIC STOCKERに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

- Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote® 社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-2012 Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-2012 Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、Gracenoteのホームページをご覧ください。

Gracenote、CDDB、Music ID、Media VOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote®によって提供されます。Gracenote®は音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、www.gracenote.comをご覧ください。

アドバイス

「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

- Gracenoteデータベースのご利用について

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote**プライバシーポリシー**を参照してください。

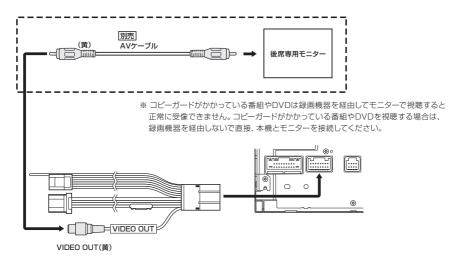
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

後席専用モニターについて

後席専用モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”*などの使い方ができます。

＊印…DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。

※接続時、車のキースイッチは「OFF」にしてください。

ナビゲーション画面とオーディオのソースを本機で同時使用した場合のモニターとの表示関係について

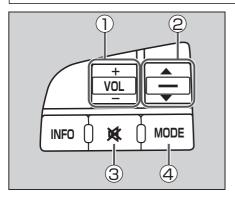
本機のソース		本機に表示される画面	後席専用モニターに表示される画面
ナビ	ー	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	TV (SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの動画ファイル、iPodビデオ／VTR)	ナビ	TV (SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの動画ファイル、iPodビデオ／VTR)
TV (SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの動画ファイル、iPodビデオ／VTR)	ー	TV (SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの動画ファイル、iPodビデオ／VTR)	TV (SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの動画ファイル、iPodビデオ／VTR)
DVD	ー	DVD	DVD
ナビ	SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの音楽ファイル、CD／MP3／WMA／Radio／iPod／MUSIC STOCKER／*Bluetooth* Audio／AUX☆	ナビ	表示されません
SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの音楽ファイル、CD／MP3／WMA／Radio／iPod／MUSIC STOCKER／*Bluetooth* Audio／AUX☆	ー	SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKERの音楽ファイル、CD／MP3／WMA／Radio／iPod／MUSIC STOCKER／*Bluetooth* Audio／AUX☆	表示されません

☆印・・・HM512D-Wの場合

アドバイス

- 本機からモニターへ出力される信号はアナログ出力となります。TVを受信している場合、放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。
- AV電源をOFFするとモニター側の表示も消えます。
- モニターでは映像出力のみを行ないます。モード選択や画面の操作を行なうことはできません。操作は本機で行なってください。
- モニターは運転者が走行中に映像を見ることができない場所に取り付けてください。車種によっては取り付けできない場合があります。取り付けや後席モニターの詳細は販売店にご相談ください。
- モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。

ステアリングスイッチについて

ステアリングスイッチ装着車の場合

お車によっては、ハンドルにスイッチが付いている場合があります。その場合、運転中にオーディオの操作が可能です。

※ハンドルやステアリングスイッチの形状は車両によって異なります。

※2011年5月以前に発売された車両には対応していません。

※対応車両は日産自動車販売店におたずねください。

イラストはイメージ図です。

① VOL ボタン(+/−)を押す。

:+側に押すと音量が大きくなり、−側に押すと音量が小さくなります。
長押しで連続して音量の増減ができます。

② ━ ボタン(▲/▼)を押す。

■ **Radioを聞いている/TVを見ている場合**

:▲側に押すとプリセットされている次の放送局を選局します。
▼側に押すとプリセットされている前の放送局を選局します。
長押しで自動選局になり、放送局を受信すると止まります。

■ **MUSIC STOCKER/CD/SD/USB/WALKMAN®/iPod/*Bluetooth* Audio/AV STOCKERを聞いている場合**

:▲側に押すと次のトラックに進みます。
▼側に押すと前のトラックに戻ります。
▲側の長押しで早送り、▼側の長押しで早戻しをします。

■ **DVDや画像ファイル/動画ファイルを見ている場合**

:▲側に押すと次のチャプターに進みます。
▼側に押すと前のチャプターに戻し(頭出し)ます。
▲側の長押しで早送り、▼側の長押しで早戻しをします。

③ 🔇 ボタンを押す。

:音を消します。もう一度押すと音が出ます。

④ MODE ボタンを押す。

ボタンを押すたびに、
MUSIC STOCKER → AV STOCKER → CD/DVD → FM → AM → TV → VTR → AUX☆ → SD → USB/WALKMAN® → iPod → *Bluetooth* Audio → (MUSIC STOCKERに戻る)
とソースが切り替わります。

☆印…HM512D-W

アドバイス

- オーディオ画面⟺ナビゲーション画面の切り替えはナビ本体パネルの AV ⟺ 現在地 を押して切り替えてください。
- AV電源OFFのときは VOL ／ ― （▲／▼）／ 🔇 は操作できません。
  ※AV電源OFFのときに MODE を押すとMUSIC STOCKERソースを表示します。
  ※ハンズフリー着信中は着信音量を、ハンズフリー発信中、通話中は受話音量を VOL で操作可能です。
- 以下の場合はそのソースを飛ばします。
  ・CD／MP3／WMA／DVDディスク未挿入、iPod未接続

N-14 個人情報の取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客さまの責任において本機の情報を消去してください。

☞別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)
「データを初期化(消去)する」H-34

■ それぞれの設定箇所で消去する場合

● **本機に録音した音楽データの削除**

☞「録音データを初期化する」
B-9の手順 3 で 録音データ初期化 を選択決定

● **本機に転送したAV STOCKERのデータの削除**

☞「AV STOCKERのデータを初期化する」
B-19の手順 3 で 初期化 を選択決定

● **本機にアップデートしたGracenoteデータベースのデータの削除**

☞「Gracenoteデータベースのデータを初期化する」
B-29の手順 3 で 初期化 を選択決定

● **本機に設定した地上デジタルテレビ放送に関する情報の削除**

☞「設定を初期化する」
K-42の手順 3 で メモリ初期化 を選択決定

● **本機に転送したアドレス帳の情報の削除**

☞「アドレス帳から」M-29の手順 3 で 全削除 を選択決定
☞「発着履歴を削除する」M-31の手順 3 で 全削除 を選択決定

初期設定一覧

● **フェードバランス調整**　☞A-28
（基本設定）

各項目の調整値＝0

● **イコライザー設定**　☞A-30

OFF

● **サラウンド設定**　☞A-33

OFF
・DSP=HALL
・SRS=FOCUS／TruBass／MixToRear･･･4

● **車速連動音量**　☞A-36

設定＝MIDDLE

● **録音**　☞B-4、5、6、7

録音＝自動録音
録音音質＝高音質モード

● **音量調整**　☞A-17

音量＝4
（DVD／VTR／AUX☆ソース時は6）

● **映像調整**　☞A-25

明るさ＝28（イルミネーションON時は12）
コントラスト＝16
色の濃さ＝16
色合い＝16
画面サイズ＝フル（TVソース時はフル固定、調整不可）

● **CD**　☞C-1

再生モード＝未選択

● **Radio**　☞D-1

FM／AM＝FMモード
FM周波数＝76.0 MHz
AM周波数＝522 kHz
交通情報＝1620 kHz

● **SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKER**　☞A-20

選曲モード＝全曲
再生モード＝未選択
モード切替＝音楽ファイル

● **MUSIC STOCKER**　☞H-1

選曲モード＝全曲
再生モード＝未選択

● **iPod**　☞G-1

モード切替＝ミュージックモード

● ***Bluetooth* Audio**　☞I-2

パスキー＝0000

● **DVD**　☞J-23

音声言語＝日本語
字幕言語＝日本語
メニュー言語＝日本語
ダイナミックレンジ圧縮＝OFF
モニター設定＝ワイド
視聴制限レベル＝制限なし
初期パスワード＝0000

● **TV〔12セグ／ワンセグ〕**　☞K-1

エリア変更＝自動
視聴エリア＝神奈川
チャンネルリスト＝登録済み（神奈川）
プリセットリスト＝未登録
番組表＝3ch表示
呼出＝エリア

郵便番号設定＝000-0000
各種設定
放送自動切換＝12セグ優先
中継・系列局サーチ＝自動
サービス設定＝テレビ／データ
チャンネル設定＝サービスch
時計表示＝する
文字スーパー表示＝第1言語
字幕表示＝しない

● **ハンズフリー**　☞M-1

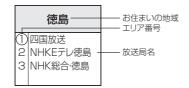
パスキー＝1212
着信音量＝＋8
受話音量＝＋8
送話音量＝＋4
接続確認案内＝する
通話中の着信拒否＝する
自動応答保留＝しない
デバイス名＝CarMulti

※データ通信設定時の各携帯電話会社の初期値は
☞M-33を参照ください。

☆印…HM512D-Wの場合

放送局一覧

地域設定で選択された地域の、エリア番号と放送局の組み合わせは、下記のようになります。
※他地域（旅行などのおでかけ先）の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。
割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。
一度放送局を受信（視聴）すると、最新の放送局名が表示されます。
※放送局側の都合により放送局名など変更になる場合があります。

■ 表のみかた

（2012年1月現在）

お住まいの地域	北海道（函館）	北海道（札幌）	北海道（室蘭）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（北見）
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ函館 3 NHK総合·函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ札幌 3 NHK総合·札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ室蘭 3 NHK総合·室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ旭川 3 NHK総合·旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ帯広 3 NHK総合·帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ北見 3 NHK総合·北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道（釧路）	青森	秋田	山形	岩手	宮城
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ釧路 3 NHK総合·釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 RAB青森放送 2 NHKEテレ青森 3 NHK総合·青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 6 HTB北海道テレビ 8 UHB	1 NHK総合·秋田 2 NHKEテレ秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合·山形 2 NHKEテレ山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合·盛岡 1 TBCテレビ 2 NHKEテレ盛岡 4 テレビ岩手 4 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 IBCテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 TBCテレビ 2 NHKEテレ仙台 3 NHK総合·仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送

お住まいの地域	福島	群馬	埼玉	山梨	栃木	東京
放送局名	1 NHK総合·福島 1 TBCテレビ 2 NHKEテレ福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 8 福島テレビ 8 仙台放送	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 群馬テレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 テレ玉 3 群馬テレビ 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·甲府 2 NHKEテレ甲府 4 YBS山梨放送 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 UTY 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 とちぎテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	茨城	千葉	福井	石川	富山
放送局名	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·水戸 2 NHKEテレ東京 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 チバテレビ 3 tvk 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·福井 2 NHKEテレ福井 6 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ	1 NHK総合·金沢 1 KNB北日本放送 2 NHKEテレ金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ	1 KNB北日本放送 2 NHKEテレ富山 3 NHK総合·富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

お住まいの地域	新潟	長野	岐阜	三重	愛知	静岡
放送局名	1 NHK総合·新潟 2 NHKEテレ新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合·長野 2 NHKEテレ長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合·岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合·津 4 中京テレビ 4 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ〜テレ 6 ABCテレビ 7 三重テレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合·名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ〜テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 NHK総合·静岡 2 NHKEテレ静岡 4 だいいちテレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡

お住まいの地域	兵庫	京都	大阪	和歌山	滋賀	奈良
放送局名	1 NHK総合·神戸 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·京都 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·大阪 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·和歌山 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·大津 2 NHKEテレ大阪 3 BBCびわ湖放送 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·奈良 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 9 奈良テレビ 10 読売テレビ

お住まいの地域	愛媛	高知	香川	徳島	島根	山口
放送局名	1 NHK総合·松山 2 NHKEテレ松山 4 南海放送 4 RNC西日本テレビ 4 広島テレビ 5 愛媛朝日 5 広島ホームテレビ 6 あいテレビ 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 テレビ愛媛 8 TSS	1 NHK総合·高知 2 NHKEテレ高知 4 高知放送 6 テレビ高知 8 さんさんテレビ	1 NHK総合·高松 2 NHKEテレ高松 4 RNC西日本テレビ 4 MBS毎日放送 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 6 ABCテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 四国放送 2 NHKEテレ徳島 3 NHK総合·徳島 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 日本海テレビ 2 NHKEテレ松江 3 NHK総合·松江 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合·山口 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ山口 3 tysテレビ山口 3 OBS大分放送 4 KRY山口放送 4 RKB毎日放送 5 yab山口朝日 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本

お住まいの地域	広島	鳥取	岡山	長崎	佐賀	熊本
放送局名	1 NHK総合·広島 2 NHKEテレ広島 3 RCCテレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 日本海テレビ 2 NHKEテレ鳥取 3 NHK総合·鳥取 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合·岡山 2 NHKEテレ岡山 4 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	1 NHK総合·長崎 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ長崎 3 NBC長崎放送 3 RKK熊本放送 4 NIB長崎国際テレビ 4 RKB毎日放送 4 KKTくまもと県民 5 NCC長崎文化放送 8 KTNテレビ長崎 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合·佐賀 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ佐賀 3 STSサガテレビ 3 RKK熊本放送 3 NBC長崎放送 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎	1 NHK総合·熊本 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ熊本 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 KKTくまもと県民 4 RKB毎日放送 5 KAB熊本朝日放送 7 TVQ九州放送 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	福岡	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
放送局名	1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ福岡 2 NHKEテレ北九州 3 NHK総合·福岡 3 NHK総合·北九州 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合·大分 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ大分 3 OBS大分放送 4 TOSテレビ大分 4 南海放送 4 RKB毎日放送 5 OAB大分朝日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合·宮崎 1 MBC南日本放送 2 NHKEテレ宮崎 3 UMKテレビ宮崎 5 KKB鹿児島放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ	1 MBC南日本放送 2 NHKEテレ鹿児島 3 NHK総合·鹿児島 3 UMKテレビ宮崎 4 KYT鹿児島読売TV 4 KKTくまもと県民 5 KKB鹿児島放送 5 KAB熊本朝日放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合·沖縄 2 NHKEテレ沖縄 3 RBCテレビ 5 QAB琉球朝日放送 8 沖縄テレビ（OTV）

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

参考ページの見方
(例)ナビ A-2→別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)取扱説明書 A-2 参照
A-2→本書の A-2 参照

共　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
電源が入らない。(動作しない。)	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。	—
画面が曇る。	雨の日、または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ曇りはなくなります。	—
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	[－ 音量 ＋] ボタン／[音量] ツマミで調整してください。	A-17
	フェード・バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”にあわせます。	A-28
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
音や映像が飛ぶ。	ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	ナビゲーション本体をしっかり固定してください。	取付
本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用をあやまった ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスプレイが閉じない。	ディスク排出処理中。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイ部は閉じません。	—
	SDカードが奥まで挿入されていない。	奥まで挿入してください。奥まで挿入しないとディスプレイ部は閉じません。	—
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋をふきとってください。また、キズやラベルのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、[DISC EJECT] をタッチしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	ナビ A-10

共　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本機を長時間使用していた。	長時間使用すると、本機内部の温度が上がりディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	―
	ディスクを長時間再生していた。		
音声案内や、ハンズフリー時の音量が急に大きくなる。	[－音量＋]ボタン／[音量]ツマミを操作してしまっている。	[－音量＋]ボタン／[音量]ツマミで、音量を調整しなおしてください。	―

モ ニ タ ー

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	―
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	A-25
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	A-19
	VTRソースになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。（VTR未入力時は黒い画面になります。）	―
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。（トンネル内など画面が急に暗くなります。）オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないときは画面は明るくなります。	―
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	―
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いを調整してください。	A-25
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	―

モニター

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—
後席専用モニターにCDやiPodなど音楽関連の画面が表示されない。	音楽関連の画面は表示されません。	故障ではありません。 後席専用モニターに表示されるのは映像関連(DVDやTV、iPodビデオなど)となります。	N-10

Radio

症　状	原　因	処　置	参考ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	D-4
“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、音の入りが良くなり、雑音が少なくなります。受信できる場所に移動してください。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めてください。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

iPod

症　状	原　因	処　置	参考ページ
正常に動作しない。	接続不良。	本機とiPodの接続を確認してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	G-17
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	G-16
ビデオが途中から再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム情報をiPod本体がおぼえています。	リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunes＊で再生位置を記録のチェックをOFFにしてください。	—
ビデオ再生ができない。	iPodがビデオ再生に対応していない。	ビデオ再生機能のあるiPodをご使用ください。	—
	iPod touchのソフトウェアバージョンが古い。	iPod touchのソフトウェアバージョンを2.0以上にしてください。	—
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPodビデオ認証中に車のキースイッチを変更した。	AV電源をOFFし、iPodを接続しなおして再度AV電源をONしてください。	A-9
選択できないビデオがある。	アーティスト名、アルバム名などのタイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。	—
車のキースイッチをOFFするとiPod抜き忘れを知らせる音声が流れる。	iPod用接続ケーブルにiPod本体をを接続したままキースイッチをOFFした。	故障ではありません。 音声は設定により止めることができます。	ナビ H-26

＊印…アップル社が開発および配布している動画および音楽再生・管理ソフト

MUSIC STOCKER

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	B-4
	MP3／WMAを再生している。	MP3／WMAは録音できません。CDが挿入されているかご確認ください。	―
録音できない。	録音中に車のキースイッチを変更してエンジンを始動した。	録音データ修復 をタッチしてデータベースの修復を行なってください。	B-8
	本機の容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済みの曲(アルバム)を削除すると新たに録音できます。	B-12、H-22、H-28、
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(チェックマーク(✔)を消している。)	チェックマーク(✔)を付けてください。	H-19
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。または止まる。	再生管理データが読み取れていません。	録音中のエンジン始動などでデータに異常が発生した可能性がありますので 録音データ修復 をタッチしてデータベースの修復を行なってください。	B-8
	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。	―
現在地 を押しても現在地が表示されない。	Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中。	更新後または初期化後に押してください。	―
オンライン検索できない。	携帯電話が登録されていない。	*Bluetooth*対応の携帯電話を本機のハンズフリーに登録してください。	M-2
		お使いの携帯電話が対応機種かどうか販売店に確認してください。	―
	携帯電話が電話1に設定されていない。	携帯電話を電話1として設定してください。	M-8
	*Bluetooth*が携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、車のキースイッチをOFF→ONにしてください。	―
		Bluetooth Audio、ハンズフリーなど、携帯電話操作を終了し、待ち受け画面にしてください。	
	カーウイングス渋滞情報取得中。	渋滞情報の取得が終わってから検索してください。	―

MUSIC STOCKER

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ジャケット写真を登録できない	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	―
ジャケット写真が小さく表示される	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	200×200ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	―
間違ったジャケット写真が表示される。	同名(同じ日付に録音した)の新規アルバムにジャケット写真を登録した。	Gracenoteデータベースでタイトルを取得してからジャケット写真を登録してください。	―

CD／MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CD／MP3／WMAに切り替わらない。	CD／MP3／WMAが挿入されていない。	CD／MP3／WMAを挿入してください。	−
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	−
● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ● 音が飛んだり音質が悪い。	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。	−
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れをふきとるなど)をしてみてください。 また、キズのあるディスクは使用しないでください。	ナビ A−10
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。	−
	ディスクの特性は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右され音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	−
ディスクが入らない。	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	−
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。	−
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	−
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)	−
聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	−

CD／MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MP3／WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在している場合、MP3／WMAファイルは再生できません。	―
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	―
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	―
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	―
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	―
ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、ディスク書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの取扱説明書でご確認ください。	―
CDのアーティスト名(タイトル名)などが異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。)	カスタムアップデート(個別更新)をしてタイトル情報を更新してください。	B-26
CDソースでオンライン検索できない。	携帯電話が登録されていない。	*Bluetooth*対応の携帯電話を本機のハンズフリーに登録してください。	M-2
		お使いの携帯電話が対応機種かどうか販売店に確認してください。	―
	*Bluetooth*が携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、車のキースイッチをOFF→ONにしてください。	―
		Bluetooth Audio、ハンズフリーなど、携帯電話操作を終了し、待ち受け画面にしてください。	
	カーウイングス渋滞情報取得中。	渋滞情報の取得が終わってから検索してください。	―

SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKER

症　状	原　因	処　置	参考ページ
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	－
再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USB機器未接続。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	－
再生が始まらない。	AV STOCKERソースで再生させるのにSDカードまたはUSB機器（USBフラッシュメモリ）のデータをAV STOCKERに転送していない。	SDカードまたはUSB機器（USBフラッシュメモリ）のデータを本機のAV STOCKERに転送してください。 ※ウォークマン®のデータは再生できません。	B-14
	SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。	SDカードを本機で初期化（フォーマット）してからファイルを入れて再生させてください。	ナビ H-34
	本機で再生できないSDカード／USB機器を挿入／接続している。	再生可能なSDカード／USB機器を挿入／接続してください。	A-7、F-17
		対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AAC／JPEG／MPEG4ファイルにしてください。	C-9、E-12、N-3～5
	動作モードがまちがっている。	再生させたい動作モードを選択してください。	A-20
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	A-7
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	－
	動画ファイルのサイズが大きすぎる。	ファイルサイズが大きいと、再生までに時間がかかる場合があります。ファイルサイズをおさえて動画ファイルを作成してください。	－
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	拡張子を確認してください。	C-9、E-12、N-3～5
ファイル再生が記録したい順と異なる。	SD／USB機器書き込み時（コピー時）にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD／USB機器へ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む（コピーする）ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	－

SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKER

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	C-9、E-12
	「音楽ファイル」モードになっていない。	モード切替で「音楽ファイル」モードに切り替えてください。	A-20
JPEGファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルにしてください。	N-3
	「画像ファイル」モードになっていない。	モード切替で「画像ファイル」モードに切り替えてください。	A-20
動画ファイル（MPEG4／H.264）が再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMPEG4／H.264ファイルにしてください。	N-4
	「動画ファイル」モードになっていない。	モード切替で「動画ファイル」モードに切り替えてください。	A-20
AACファイルを再生できない。	AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データが混在しているSDカードまたはUSB機器を再生しようとした。	AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合AACファイルは再生できません。	—
ウォークマン®でMP3／WMA／AACファイルが再生できない。	ドラッグ＆ドロップ転送を行なっている。 ドラッグ＆ドロップ転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行なえません。	ドラッグ＆ドロップ転送した曲は、選曲モードのフォルダから選曲することで再生することができます。	—
		ウォークマン®に付属するx-アプリまたはSonicStageを使用することで、MP3／WMA／AACをATRAC AD規格で転送することができます。x-アプリまたはSonicStageのアプリケーションを使用して転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行なえます。	—
USB機器を認識していない。	対応していないUSB機器の可能性があります。	別のUSB機器でためしてください。	—
		本機で対応しているウォークマン®か確認して下さい。	F-16
	USB接続ケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続されているか確認してください。	F-17

SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKER

症　状	原　因	処　置	参考ページ
AV STOCKERに転送できない	最大容量を超えている。	AV STOCKERの空き容量を確認してください。データを削除すると新たに転送できます。	B-20、B-17
	最大フォルダ数、最大ファイル数を超えている。	AV STOCKERのフォルダ数やファイル数を確認してください。データを削除すると新たに転送できます。	B-13、B-17
	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角240文字、全角120文字を超える場合、転送できないことがあります。 フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
	Macで作成したフォルダ／ファイルを転送している。	Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒に転送するとエラーが発生します。 使用するSDカード／USBフラッシュメモリから隠しファイルを削除してください。	—
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びが発生する場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
ジャケット写真が表示できない	MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。	iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。	—
		アプリケーションが自動で取得したジャケット写真(アートワーク)は音楽ファイルに自動で付加されない場合があります。そのような場合は、手動でジャケット写真を登録してください。	—
	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	—

SD／USB／WALKMAN®／AV STOCKER

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ジャケット写真が表示できない	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	E-12
	1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—
動画ファイル再生中に縞状のノイズが発生する。	元がインターレースの映像を使用し、動画ファイルを作成した場合、縞状のノイズ（コーミングノイズ）が発生することがあります。	動画ファイル作成時に、動画作成ソフトでフィルタなど（デインターレース）を掛けてノイズを除去してください。	—
		QVGA（320×240）以下のサイズで作成することで、ノイズが抑えられる場合があります。	—
動画ファイル再生中に音飛び、コマ落ちが発生する。	ビットレートが高すぎる。	動画ファイル作成時に、ビットレートを低く設定することで、音飛びやコマ落ちを抑えれる場合があります。	—
	対応していないファイル形式の動画ファイルを再生している。 対応していないファイルでも、途中まで再生できる場合があります。	対応しているファイル形式で動画ファイルを作成してください。	N-4
動画ファイル再生中にスキップする。	ビットレートが高すぎる。	動画ファイル作成時に、ビットレートを低く設定することで、スキップを抑えられる場合があります。	N-4
	対応していないファイル形式の動画ファイルを再生している。 対応していないファイルでも、途中まで再生できる場合があります。	対応しているファイル形式で動画ファイルを作成してください。	N-4
MP3／WMA／AAC再生時にエラーメッセージが表示される	Macで作成したファイルをSDカード／USBフラッシュメモリで再生している。	Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒にフォルダの中にコピーしていると再生時にエラーが発生します。使用するSDカード／USBフラッシュメモリから隠しファイルを削除してください。	—

● 対応ファイル形式は☞「再生可能なデータについて」E-12／「画像ファイル（JPEG）について」N-3／「動画ファイル（MPEG4）について」N-4を参照してください。

Bluetooth Audio

症　状	原　因	処　置	参考ページ
Bluetooth Audio対応機器が接続できない。	本機との接続情報が消えている。	もう一度登録しなおしてください。	I-2
	Bluetooth Audio対応機器の設定が、*Bluetooth*接続待ちの状態になっていない。	*Bluetooth* Audio対応機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	本機から接続を受けつけない。		
	特定の状態（例：携帯電話でのミュージックプレイヤーの起動中）でしか接続できない。		
音楽が流れない。	*Bluetooth* Audioの音声転送プロファイルである、A2DPが接続されていない。	*Bluetooth* Audio対応機器がA2DPに対応しているかを確認してください。	—
		対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し、再び登録しなおしてください。	
		Bluetooth Audio対応機器の仕様によっては、A2DPに対応していても音楽が流れない場合があります。	—
Bluetooth Audio対応機器の操作を本機からできない。	*Bluetooth*のリモコン操作プロファイルである、AVRCPが接続されていない。	*Bluetooth* Audio対応機器がAVRCPに対応しているかを確認してください。	—
		対応しているにもかかわらずリモコン操作ができない場合は、一度登録を削除し、再び登録しなおしてください。	
		Bluetooth Audio対応機器の仕様によっては、AVRCPに対応していてもリモコン操作ができない場合があります。	—
● 音が飛ぶ。 ● 操作がおくれる。 ● 再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる。	*Bluetooth* Audio対応機器が本機から離れすぎている。	*Bluetooth* Audio対応機器を本機に近づけてください。	—
	ハンズフリー、データ通信などを行なっている。	故障ではありません。通信量が増加するため、一時的に症状が発生することがあります。	—
リストが操作できない。	接続機器がリスト表示機能に対応していない。	AVRCP1.4に対応した機器を使用してください。*Bluetooth* Audio対応機器によってはAVRCP1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。	—

ハンズフリー

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ビルの谷間などで音声が乱れる。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	―
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
	通話中の着信拒否が“する”に設定され、もう一方の端末が通話中である。	通話中の着信拒否を“しない”に設定してください。	M-13
		使用していない*Bluetooth*機器を削除してください。	M-5
音が出ない。 ● 相手の声が聞こえない。 ● 着信音が聞こえない。	音量が最小になっている。	着信音量、受話音量を調整してください。	M-12
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	―
		携帯電話の電波状態を確認してください。	
相手に声が伝わらない。	音量を下げているまたは音声を消している。（ミュート中）	音量を上げるか、ミュートを解除してください。	M-12、M-21
通話後、オーディオの声が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。	音量を上げるか、消音機能を解除してください。	A-17
	ハンズフリー通話時に端末が*Bluetooth* Audioをとめている場合がある。 （*Bluetooth* Audioとハンズフリーが同一端末であった。）	*Bluetooth* Audioを再度、接続し、再生させてください。	I-12
携帯電話側で応答保留（着信保留）に対応していないのにもかかわらず、着信時に応答できない。	自動応答保留設定が“する”になっている。	自動応答保留設定を“しない”に設定してください。	M-14

ハンズフリー

症　　状	原　　因	処　　置	参考ページ
携帯電話と接続できない。	*Bluetooth*で携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話の*Bluetooth*機能をONにするか、車のキースイッチをOFF→ONにしてください。	―
	*Bluetooth*対応携帯電話を使用していない。	*Bluetooth*対応携帯電話を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうか販売店に確認してください。	―
	携帯電話と他の機器が接続された状態になっている。	携帯電話側で他の機器との接続を解除してください。	―
	通話中の着信拒否が“する”に設定され、もう一方の端末が通話中である。	通話中の着信拒否を“しない”に設定してください。	M-13
		使用していない*Bluetooth*機器を削除してください。	M-5

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
字幕がでない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。	―
	字幕がオフになっている。	設定を変えてください。	J–16
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	―
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	―
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋をふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ A–10
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれていると、こすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。	―
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	―
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	N–6
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	J–30
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	J–28
“⃠”(禁止マーク)を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。	―
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れをふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ A–10
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	―

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	J-28
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	—
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。	J-24
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクをファイナライズ処理をしてください。	—

TV

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像がでない。	● miniB-CASカードを挿入していない。 ● miniB-CASカードが裏返しで挿入されている。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	A-8
文字スーパーが出ない。	● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で“表示しない”にしている。 ● 受信モードがワンセグである。	文字スーパー表示設定で言語を選択してください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	K-34
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	K-36
	字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。	
受信できない。	● 走行地域が放送エリア外で、エリア変更が手動に設定されている。 ● 放送エリア内にいない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	K-12
		地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。お車の走行地域で放送が開始されているか確認してください。また、放送エリア内に移動してください。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。	本機に別売の地上デジタルテレビ放送用アンテナ以外を接続されている場合、お持ちの取扱説明書に従って正しく設定してください。	—
映像が止まったりモザイクがかかる。	受信モードを12セグ固定にしている。	自動切替に設定しておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。自動切替に設定してください。 ※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行なっていない場合があります。その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像が映らない場合があります。	K-5、K-27
	周りに障害物があるなど、電波状態が良くない。	受信状態が良くなると映像が止まりにくくなります。受信できる場所に移動してください。	—

TV

症　状	原　因	処　置	参考ページ
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。	—
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行なった ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

メッセージ表示について

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ表示	原　　因	処　　置	参考ページ
“リージョンが違います。”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	J-30
“視聴制限により再生できません。”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。	J-28
“入力されたパスワードが違います。”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	J-28
“走行中は映りません。”	走行中にDVD／iPodビデオ／TV／VTR、AV STOCKER／SD／USB機器の動画再生を見ようとした。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。 安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	–
● “録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。” ● “録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。”	本機の容量が一杯になったため。	本機内のデータを削除してから、再度、各操作をしなおしてください。	–
“再生可能なディスクを入れてください。”	● 本機で再生できないディスクを入れている。 ● ディスクが逆にセットされている。 ● ディスクに汚れ／異常がある。 ● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。	● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。 ● 正しいディスクをセットしてください。 ● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。	–
“ディスクを入れてください。”	ディスクが入っていない。	本機で再生できるディスクを入れてください。	–
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読込中。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	–
● “録音に失敗しました。もう一度録音してください。” ● “CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。”	CDに汚れ、傷がある。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	ナビ A-10

メッセージ表示について

メッセージ表示	原　因	処　置	参考ページ
“録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(キースイッチ)を切らないでください。”	音楽CD録音中に車のキースイッチを変更した可能性がある。	自動でデータベースの修復を行ないますので、メッセージ表示が消えるまでそのままでお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源(キースイッチ)を切ってください。復帰しない場合は録音データ初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	車のキースイッチを一旦OFFにしてください。30秒以上待ってからキースイッチをONしてください。それでもメッセージが表示されるときは、録音データの修復を行なってください。 ※復帰しない場合に、初期化(出荷状態に戻す)をすると本機に録音した全てのデータが消えます。	B-8、B-9
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“iPodが接続されています。”	iPod接続中にUSB／WALKMAN® ソースを選択したとき。	iPod接続ケーブル(青色)を外し、USB接続ケーブルにUSB機器を接続してください。	G-17、F-17
“信号が受信できません。[202] 中継局を探しますか？”	放送エリア外にいる。	放送エリア外では受信できません。 放送エリア内に移動してください。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。 受信できる場所に移動してください。	—
	アンテナの故障が考えられる。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	K-38
	車の走行速度が速い。	法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。	—
	パソコンや携帯電話などを使用している。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できない。	社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。 受信できる場所に移動してください。	—

メッセージ表示	原　因	処　置	参考ページ
"B-CASカードの交換が必要です。"	miniB-CASカードの故障が考えられる。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	K-53
"このB-CASカードは使用できません。正しいB-CASカードを装着してください。"	miniB-CASカードの故障が考えられる。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	K-53
	● miniB-CASカードの挿入方向が間違っている。 ● miniB-CASカードではないカードを挿入している。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	A-8
"接続できませんでした。設定を確認し、もう一度行ってください。"	オンライン検索に失敗した。	携帯電話を本機に近づけてください。	–
		対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうか販売店に確認してください。	–
		オンライン検索中に*Bluetooth* Audio、ハンズフリーなどを行なった場合、検索に失敗する場合があります。	C-7
		マニュアル設定にて接続設定を変更している場合は接続設定をご確認ください。	M-33
"パスキーが一致していません。再度登録操作を行なってください。"	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	I-7～I-9、M-15、M-16
"登録できませんでした。"	他の*Bluetooth*機種からの登録が行なわれている。	ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他の*Bluetooth*機器の電源はお切りください。	–
"転送可能なフォルダの上限を超えました。これ以上フォルダを転送できません。"	AV STOCKERの最大フォルダ数を超えている。	AV STOCKERのフォルダ数を確認してください。データを削除すると新たに転送できます。	B-13、B-17、B-20
"転送可能なファイルの上限を超えました。これ以上ファイルを転送できません。"	AV STOCKERの最大ファイル数を超えている。	AV STOCKERのファイル数を確認してください。データを削除すると新たに転送できます。	
"フォルダ内に転送可能なファイルの上限を超えました。これ以上ファイルの転送ができません。"	AV STOCKERで転送先フォルダのフォルダ内の最大ファイル数を超えている。		
"AV STOCKERの空き容量が不足しています。これ以上データを転送できません。"	AV STOCKERの空き容量が不足しているため。	AV STOCKERの空き容量を確認してください。データを削除すると新たに転送できます。	B-20

メッセージ表示について

メッセージ表示	原　　因	処　　置	参考ページ
"ファイル名が長すぎるため転送できません。"	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角240文字、全角120文字を超える場合、転送できないことがあります。 フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
"使用できないSDカードが挿入されています。"	対応していないSDカードが挿入されている。	別のSDカードで試してください。	—
	SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行なってください。	ナビ H-34
"対応していない機器が接続されています。"	対応していないUSB機器が接続されている。	別のUSBフラッシュメモリ／ウォークマン®で試してください。	—
"USB機器を接続してください"	USB／WALKMAN®ソース選択中にUSB接続ケーブルにUSB機器が接続されていない。	USB接続ケーブルにUSB機器を接続してください。	F-17
"ビデオモードに対応していません。"	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。	ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。	—

AAC
「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3／WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

ATRAC AD(アトラックエーディー)
ATRAC Audio Device の略です。ソニーによって開発されたウォークマン®などで採用されているメディアフォーマットです。x-アプリなどのアプリケーションから著作権保護された曲などを転送することができます。

ATRAC3
「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。
元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができます。

ATRAC3 plus
ATRAC3との互換性を維持しながらさらに圧縮技術を進化させた音声圧縮技術です。

DRM(デジタル著作権管理)
デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

DTS：Digital Theater System
デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 Channel
DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

H.264(エイチニーロクヨン)
圧縮率が高く、少ないデータ量で動画を伝送するための動画圧縮規格の一つ。ハイビジョン映像から携帯電話まで幅広く利用されています。

ID3タグ／WMAタグ
MP3ファイル、WMAファイルには、ID3タグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

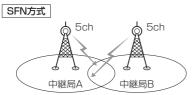
Joliet(ジュリエット)
Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

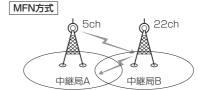
LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

MFN方式

MFNとはMultiple Frequency Networkの略です。
放送中継を用いない(各中継局と周波数を同じにする)SFN方式に対し、MFN方式では放送区域内で中継局の送信チャンネルを複数用いる方法です。

SFN方式

放送波中継を用いないため中継局AとBの周波数を正確にそろえる(伝える)必要があります。

MFN方式

中継局Bでは中継局Aの放送波を受信して別のチャンネルで送信します。
※今までの放送局が受信できなくなった場合でも他のチャンネルにすることにより、その放送局を受信しなおすことが可能です。
☞「中継局を探す」K-13

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

MPEG4

動画、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。DVDや地上デジタルテレビなどで使用されるMPEG2に比べ、高い圧縮率で映像ファイルを作成することができます。

OpenMG(オープンエムジー)

ソニー社によって開発されたデジタルコンテンツの著作権管理・保護・配信技術です。(本機では再生中に OMA マークが表示されます。)

SDHC(エスディーエイチシー)

SDカードアソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で、4 GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「CLASS2 (2 MB/s)」「CLASS4 (4 MB/s)」「CLASS6 (6 MB/s)」「CLASS10(10 MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況にあわせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VTR

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。
VTR端子から入力された映像や音は、VTRソースに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4:3(普通のテレビ)と16:9(ワイドテレビ)の2種類あります。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。

COPY CONTROL CD　コピーコントロールCD

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表わす数値のことです。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。
※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。
受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、"セッション"と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)
セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。
また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

地上デジタルテレビ放送/ワンセグ

・**地上デジタルテレビ放送**
2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。
くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。
※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・**ワンセグ**
地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

データ放送

お客さまが見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客さまのお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行ないます。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行なって接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

パスキー

*Bluetooth*接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。*Bluetooth*機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの英数字(パスキー)を入力する必要があります。

パラメーター

プログラムの動作を決定する数値や文字を表します。

パン＆スキャン(P&S)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4：3のテレビで表示します。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

マスストレージクラス

正式名称はUSBマスストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。
例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

1125i(1080i)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

525i(480i)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

750p(720p)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

525p(480p)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

さくいん

あ 行

か 行

さ 行

た 行

な 行

は 行

ま 行

や 行

ら 行

わ 行

数字・アルファベット

型式によって機能の有無が異なります。
詳しくはそれぞれのページを参照ください。

本機は、日産自動車株式会社向けに、パナソニック株式会社オートモーティブシステムズ社が開発・製造しています。
お問い合わせは、下記の「日産自動車株式会社 お客さま相談室」へお願いいたします。

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

日産自動車株式会社　お客さま相談室

〒220-8686　神奈川県横浜市西区高島１丁目１番１号

0120-315-232
受付時間：9:00～17:00

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。
なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ(http://www.nissan.co.jp)にて掲載しています。

カーウイングスに関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

カーウイングスお客さまセンター

0120-981-523
9:00～17:00（年末年始を除く）